あらきニュース No.44

支援者と一緒に、施設見学へ

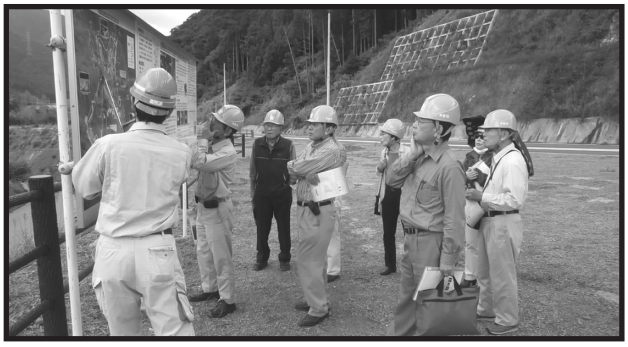
7月25日（水）にあらき議員と支援者4名で、山王雨水調整池と中部水処理センターを見学にでかけた。

山王雨水調整池は、平成11年6月29日と平成15年7月19日の浸水被害を受けて、博多駅周辺を三度浸水させまいと、博多駅地区緊急浸水対策事業の一環として設置された。

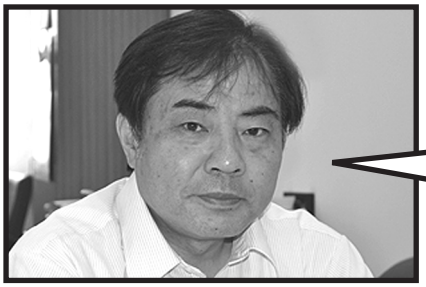
河川の上流域に降った雨水は御笠川を直接流れるが、市街地に降った雨水は水嵩の増した河川に流さず、御笠川の流量と調整しながら調整池から放水する。野球場を約1.8m掘り下げた「山王1号調整池」に13,000立方メートル、地下に構築したコンクリートで築造した「山王2号雨水調整池」に15,000立方メートルを貯水でき、御笠川下流域の浸水防止には効果がある施設であると感じた。

次に、訪問したのは「メタックス'09」という消化ガス発電設備施設。施設は中央区荒津の中部水処理センターの中に設置されている。中部処理センターでは中央区内から排出される下水・汚泥を処理しているが、この **過程で発生するバイオマス燃料である消化ガスを燃料として発電し、同時に熱を回収するシステムであった。** 市民の日常生活から発生する糞尿（汚泥）を単純に廃棄することなく定格出力500kwの発電量により年間約1,500万円の電力量の削減効果があることを確認した。

（早良区梅林・木村誠吾さん）



写真は10月4日の五ヶ山ダム視察のときの様子



ドラゴンあらきのコメント

・五ヶ山ダム建設の目的の一つに「治水」が挙げられていますが、昨今の豪雨被害は上流域にダムを作れば防げるようなものではなく、市街地に降った雨水をいかに調整しながら河川へ流入させるかが防災の鍵となっています。

・脱原発を実現するためには、小規模分散型のエネルギーへのシフトが大事です。バイオマスは発電だけで利用するよりも、熱源として、もしくはコージェネレーション（熱と電気を作る）として利用するのが効率的です。

ドラゴンあらきの視察・調査に行ってきました

5月15日（火）・16日（水） 松山市の自転車歩行道での自転車一方通行推奨社会実験についての調査、松山市の水道事業の民営化についての調査、高松市の市街地中心商店街活性化についての調査

7月26日（木） 横浜市の都市緑地法への取り組みについての調査

8月8日（水）・9日（木） 宮城県・仙台市のがれき処理についての調査

10月4日（木） 五ヶ山ダムについての視察（支援者10名と一緒に行きました）など。調査報告はホームページでご確認ください。

市政報告会のおしらせ

期日 **12月1日（土）14:00～16:00**

会場 **有田公民館**
〒814-0165 福岡市早良区次郎丸1丁目1-6
TEL 092-861-7679

8月19日に開催した市政報告会の様子▶